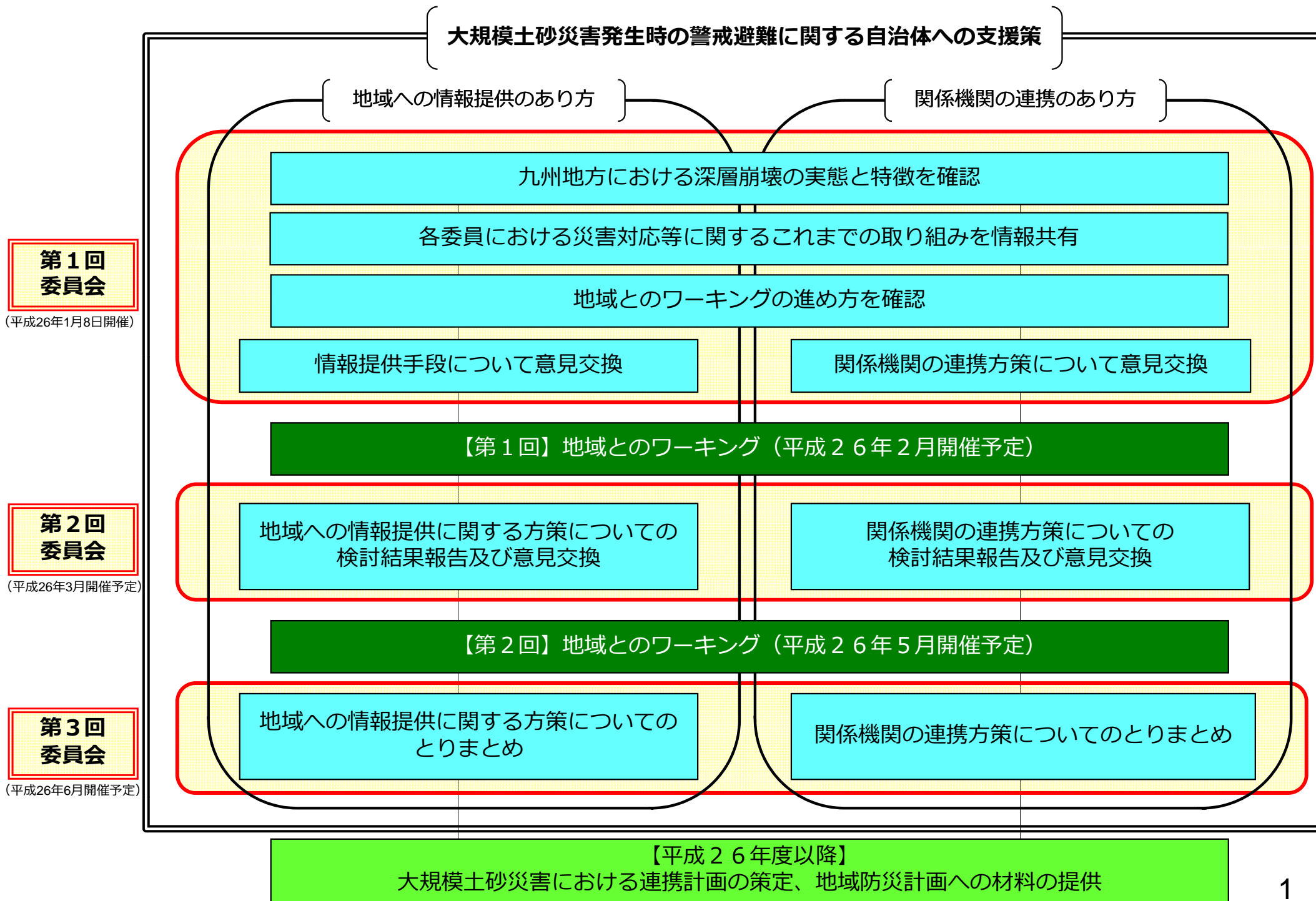


委員会の検討内容・進め方について

九州地方の大規模土砂災害における警戒避難対策検討委員会の検討内容



九州地方の大規模土砂災害における検討委員会の進め方

検討内容

1. 九州地方における深層崩壊の実態と特徴について
 - ①九州地方は火山性の地質や四万十帯のような堆積岩が付加してできた地質など地形地質によって様々な規模の深層崩壊が発生している。
 - ②深層崩壊の災害形態は、土石流タイプと河道閉塞タイプに分けられる。
 - ③災害現象について、降雨と崩壊の関係、表層崩壊と深層崩壊の関係、インフラの寸断
 - ④災害事例の紹介
2. 各委員のこれまでの取り組み紹介
 - ①各委員からの災害対応事例や取り組み状況の説明
3. 警戒避難に関する地域とのワーキングについて
 - ①深層崩壊による災害と関連の深い3地域の関係自治体から、災害に関する現状や取り組みについて紹介
 - ②3地域の住民とのワーキングの進め方についての提案
4. 連携・情報提供手段に関する検討方針について
 - ①アンケート調査や地域住民とのワーキングにより、提供が望まれる情報について地域特性を考慮した情報提供手段についての検討



第1回委員会の要点

1. について
 - ・九州地方における深層崩壊と被害状況の実態と特徴について、情報共有する。
2. について
 - ・各委員からの取り組み紹介によって、各機関や専門家の役割について情報共有する。
3. について
 - ・3地域の実状や取り組みの紹介から、これから開催するワーキングの進め方について確認する。
4. について
 - 議事1～3を含めて
 - ①「関係機関の連携方策について」
 - ②「連携を踏まえた情報提供の手段について」
 - 警戒避難に関する地域特性を踏まえた対応策(連携・情報提供手段)について方向性を確認する。